

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 23年 12月 第17号

一年を振り返って

事務局長

浅野 尚美

11月6日、雨の中光陽福祉会の新社屋の地鎮祭が粛々と執り行なわれました。

宮司様の雨降って地固まるという言葉の通り、恵の雨であったと思います。

この一年を振り返ってみると、何だか落ち着かない、何だか上手くいかない焦りと葛藤のトンネルの中に止まっていたように感じます。

土地が見つかり無事に地鎮祭を済ませることができ、やっとトンネルから抜け出せるのではないかと一筋の兆しが見えてきたように感じています。1年振り返ると焦りと葛藤との「負」の連鎖だったように思いますが、光陽福祉会は、NPO法人夢んぼの岐阜支店として産まれました。赤字や単価問題等いくつもの困難を乗り越えてきました。

「ピンチはチャンス」という思いで必死にやってきたからなのですが、本当にたくさんのことを乗り越えてきました。「脱・福祉」を掲げれば、自分達が1番福祉に浸かっていたことを知り、葛藤。「本当の自立」を掲げれば利用者それぞれの自立がある。その形は何か？と葛藤。

ようやくそれでも答えが見つけれられたような気がしています。結局、必要な時に必要なものを作る。なければ作ればいい。ここに尽きるように思います。

もちろん構想や目標は必要です。ただ、あまり考えてばかりいても進まない。だったらとりあえず...やってみようか！でいいのかもしれない。目の前にいる子ども達にとってと考えたなら...。新年度には、制度の改正により、児童デイサービスは、児童発達支援事業所・放課後等デイサービスへの移行。新たに新規事業として、就労支援センターと、就労移行支援事業所と就労継続支援B型事業所の3つの事業を開設します。法人独自の就労支援として、企業と新たに提携し、民間のハローワークと新感覚の形づくりに挑みます。

光陽福祉会は会長の斬新な発想というか、無謀、思いつき...から始まります。そこに私や統括はいつも悲鳴をあげながら付いていきます。

会長とはヒョンな出会いから3年。気付くと、夢んぼの赤字支店が一般社団法人光陽福祉会となり、局長は会長に、私は局長に...なっていました。

気付くと、夢んぼに週2日、光陽福祉会に週2日、TGWに週1日というような私のワークスタイルが出来ていました。一難去ってまた一難というようにアタフタと過ぎていったように思います。気付くと会長と共に仕事をする中で、知識と経験が気付かぬうちにたくさん出来ていました。知らないよりは知ったほうがいい。どんな時でもそう思ってきた私にとって会長から教えてもらったことが3年分。たくさんの財産。

新社屋建設・完成3月と言っていたら突然、新事業1つ立ち上げ2月。1つだったはずが気付けば2つ。2つだったはずが気付けば3つ。先駆的、画期的、ひらめき...で進んでいく会長。

突然のことにこれから何回「ギョッ」としていくのか？私も統括も慣れていくしかない...ギョッとするのも慣れたら快感。快感過ぎたら喜びに...！？

たくさんの出会い、経験、勉強を与えてくれた光陽福祉会に感謝。素晴らしい子どもたち、保護者の方たちに感謝。また、新しい1年を迎えられることに感謝。

サポートセンターつぼみ 未就学の部

秋

大島 由美子

10月、11月の療育では、「秋みつけ」というテーマで、どんぐり公園へどんぐりを拾いに行ったりと、秋を体感しながらの取り組みを設定し行ないました。

【秋の制作】

さつまいも・・・新聞紙をギュッギュッギュと土台作り。
さつまいも色の紙にのりをペタペタつけてくっつけておいもさんのできあがり！
真ん丸おいもに長細おいも。おいしそうなさつまいもができました。



葉っぱ・・・大きめの封筒にぐいぐいグルグル・・・クレヨンで色をつけたよ。

みんなとっても真剣な表情。

お絵かきタイムは、しばらく続けました。

どの色にしようかな、といろんな色を並べて選んだり・・・折れてしまっているクレヨン
を一生懸命くっつけようとしてしばらく静止していたり・・・可愛い姿も発見。



未就学さん達に作ってもらったおいもと葉っぱに中高生さん達に
作ってもらった
折り紙の栗やどんぐり、みのむしを付け加えて秋模様を完成。



【音あそび】

秋みつけで拾ってきたどんぐりを使ってマラカス作り。
どんぐりを1つ1つ指でつまんでペットボトルの中へポトン。
1つ2つ入れてはひっくり返して楽しんで・・・また入れてはひっくり返して・・・と
なかなかどんぐりがたまっていかなかったり。

と、思いきや、夢中になってどんどん入れていき・・・どんぐり大量！！

にぶ～い音のマラカスが

できたりと個性感じるどんぐりマスカラになりました。

その後、「やまの音楽家」の曲に合わせながら、小さなオーケストラさん
たちによる演奏タイム。

たいこをドンドン。

笛をピープー。

マラカスをシャンシャン、ガラガラ。

素敵なハーモニー を奏でてくれましたよ。



秋が終わると、次はクリスマスにお正月。
季節の行事と一緒に楽しんでいきたいな、
と思っています。



サポートセンターつぼみ 小学部



1番きれいな色。1番ひかっている色ってなんだろう？ 中村 雅代

それぞれの学校での1日を終え、下校後1度家に帰ったり、つぼみに向かう車の中で気持ちを切替えて子供達は来所してくれます。

そんな子供達を、ADL・IADL・感覚統合等々その日の療育と美人？揃いの職員のやる気と優しい笑顔が出迎えます。これからは早く暗くなり、寒い時もあるので、そういう訳にもいかなくなりますが・・・

療育の内容や子供達の頑張り・来所時間にもよりますが。子供達と公園に出掛けて行く事があります。

ペアさんと列をくずさず、もちろん車や障害物などの危険回避といった歩くルールも学びながら近くのどんぐり公園に行くのですが、道中子供達は本当に嬉しそうです。私達は歩きながら今日は子供達の大好きなあの場所が空いてるかなあ、空いてるといいなあと願いながら子供と手をつなぎ足を進めます。

到着！！やったあ、大好きな場所には遊んでる子がいても、つぼみの子供達が入れそうな人数です。公園には小さな子連れのお母様方や他の子供もきているので帰る時間や遊ぶ範囲の約束をします。

職員の いいよ！！の声と同時に大好きなまんまるお山に向かって走り出します。そうです。公園にはのぼり棒、ジャングルジム、色々な遊具がありますが、一番のお気に入りがまんまるお山です。お山の中はうす暗い土管のトンネル。小さな子はその中を体をかがめながら入って出てきます。出てきた時の笑顔はとびきりです。大きい子供達は山の頂上にかけて上りお尻ですべりおりののです。

山の頂上には統括が仁王立ち(笑)てっぺんまでもうちょっとという子に手を差し伸べひっぱり上げてくれます。時には子供にもたれかかれ、子供と一緒に上からすべり落ちてきます(笑)。

K君は、何度やっても統括の手の届く所までいきません。彼なりに走る距離を長くして勢いをつけてと思う様ですが、斜面の真ん中辺りで、疲れてへたってしまいます(笑)。体を前に傾けてねと、職員からもゲキが飛びます。あ～残念、もう一回と上で待つ子の声が。頑張れ～！あ～残念！！この姿 上で待つ子、登ろうとする子。皆さんにも見てもらいたいです。感動もんですよ。登ったK君に皆で拍手そして重なり合って滑ってきます。そんな騒ぎをよそにもくくと反対山の斜面ではロッククライミングさながら、石の突起に足をかけ登ろうと努力しているSちゃん、なだらかな斜面を歩いてゆうゆうと登るYちゃん達、ダンゴ作りに励むKちゃん。

公園での遊びの中で、友を応援し、応援され頑張る心を養い遊びを通して子供達は自分の力をつけていっていると感じます。この瞬間子供達の姿が1番きれいな色、1番ひかっている色に感じられます。

つぼみの子供達には、どんどん成長し素敵な色で輝いてほしいと思います。

サポートセンターつぼみ 中学部



つぼみ茶屋

山下 久瑠実

11月18日は、つぼみ茶屋の日でした。

つぼみ茶屋では月に一度、子ども達が五平餅を作り販売を行なっています。

中学部の子には、五平餅の成型から販売まで責任を持ってやってもらっています。

成型に入る前にまずは身だしなみの準備から始めます。

エプロンの紐を結び自分でバンダナを頭に巻き、マスクをする。そして、きれいに手洗いをす。この一連の動作の中にも療育があります。自分が見えていないところは感覚で行っていくのですが、これがなかなか難しい。エプロンの紐結びも後ろ手で結ぶことなので、手順を感覚で行ないます。T君は、バンダナを頭にのせてから結ぶ動作が苦手な様子。「どうするのかな？」と見ていると、先にバンダナを結び頭にかぶりました。自分がやりやすいように工夫することも大切ですよね。

身だしなみの準備が整ったら次はいよいよ成型です。すりこぎを使い、手首をねじりながらご飯をつぶします。つぶし方にムラができないように、全体がよくつぶれているか自分の目で確認しながらつぶしていきます。

大きなボールに入ったご飯をつぶしている子を他の子がボールを持って動かないように固定する…何回も行なっている五平餅。自然と互いが助け合うことが身についてきていることを感じます。この光景は1つのことをみんなで取り組むことができる支援の必要性を私自身に教えてくれました。

次ぎは、丸めて焼いていきます。この時、側面が割れていると焼いた時に全体が割れてしまいます。きれいに丸め、形にすることと、いかに上手に空気を抜いて成型できるかがポイントです。また、ご飯が手につかないように水をつけますが、つけ過ぎるとご飯もべちゃべちゃになってしまいます。とても加減が難しい作業です。焼く時もきれいなきつね色になるまで少しずつ確認しながら焼く。恒例になっている五平餅ですが、全てが感覚的なものが必要な作業です。焼きあがったら、最後はお客さんの前で販売です。焼けた餅を味噌へ入れる子、味噌をつけてタッパーに入れる子、タッパーに輪ゴムをかける子。お客さんに渡す子、会計をする子…ここでは、連携プレーが大切です。感覚的なもの、皆で協力することを学べる大きな恒例行事。

この取り組みを通して、エプロンをつける等のADL、五平餅を作る調理実習、販売をするという就労体験など様々なことを学んでいけるようにしていきたいと思います。



サポートセンターつぼみ 高等部



接客

島塚 立江

月曜日は、保護者と会長とのミーティングがあります。その時、中学部・高等部が毎週交替でお茶を出しています。『正しいお茶の出し方とは?』子ども達に教えるにあたり、実は職員もわかっていない事に気付きました。インターネットで調べ、まず自分達が理解し、子どもに伝え、練習することになりました。大きく次の5つのポイントに重点を置き練習しています。



【挨拶】

「大きな声で元気良く」が、必ずしも良いとは限りません。すでに、話し合いが始まっている時などは、話をさえぎらないように会釈だけにする、などその場に応じて臨機応変さが求められます。



【湯のみと茶托】
湯のみは、茶托に乗せずお盆に乗せて配り(2名の場合)お客さんに出す際、テーブルにお盆を置き、お盆の上で湯のみを茶托に乗せます。



【湯のみの持ち方】

丁寧に持ちましょう。



【お客さんの右側から】

原則、お客さんの右手からお茶を出します。しかし、場所的には入れない時もあります。次にお茶を出す人が確認のため見学します。



【出し終わったお盆は…】

お茶を出し、帰る際には、お盆は裏面を体に添わせ、左手で軽く抱え持ちます。

今でこそ、高等部は、ポイントを心掛け、落ち着いてお茶を出せますが、始めからスムーズにできるようになった訳ではありません。

1つ覚えれば、1つの動きを忘れ、前回できても今回できるとは限らず、また練習時にできていたことがいざお客さんの前に出ると緊張してしまい動きがぎこちなくなり焦るとますますこんがらがってしまう…。まさしく、一進一退の繰り返しでした。

そんな中で お茶を出すお客さんは6人限定
テーブルに番号を付け、親さんには来た順に番号通りに座ってもらい、
子どもは番号順にお茶を出す。
1人が2人の親さんにお茶出しをする。

など、約束ごとを決め、出し方をより分かり易くしたところ、子ども達は見違えるほど、練習の成果を発揮できるようになりました。

お茶を出す時のマナーを学びながら、お茶出しを通して、人と接する仕事への興味を持ち、コミュニケーション能力を高めていきたいと思います。

「接客」のカリキュラムは、「継続は力なり」を痛感する療育の一つとなっています。

移動支援



講義を受けて・・・ 移動支援 臼井 佳代

今年の秋は例年に比べ暖かいので、この時期になってもプールを利用される方が多く、貸仕切りとまではいきませんが、子ども達が活動できるスペースは充分あります。出先での支援には1番にコミュニティー支援。周りの人たちとどう関わらせていくのかを考えつつ、集団支援と個別支援を行なっています。

先日、大阪から中野先生に来所して頂き、毎回の実技に合わせて今回は講義を受けさせて頂きました。

その講義の中で特に印象深かったのは取り組みを見る視線の位置・観点の違いです。プール指導をする以前の段階にもスモールステップはあること。私達がプールに入る時、特に大変さを感じることなく自然に入水までしてしまいます。けれど障害をもっていることによって、その中に困難さがあるということ、刺激があるということを改めて考えさせられました。通常的生活の中で衣類を身にまとっていることで安心感を得ていること。衣類を脱ぐことで不安になる事、プールサイドという違う場面に立つことが、どれ程の意味を持っているのかを知らされました。また、水着のように伸縮の強い物に着替えることの大変さなど、それらを経験し刺激を受けながら「楽しむ・喜び」に変換しての入水であることを教えて頂きました。支援している立場で熱が入ってしまうと、目標が高くなってしまいがち、だからこそ大切にしないといけないことは「目標は高くしない」「残っている能力を引き出す」「たくさん褒める」。その言葉通り子ども達のペースに合わせて成長できるように見守りたいと思います。

まだまだ書ききれないぐらいのたくさんの方のことを教えて頂き、個人の課題も見つかりました。今後の支援に生かしていきたいと思います。



～ ここからは豆知識 ～

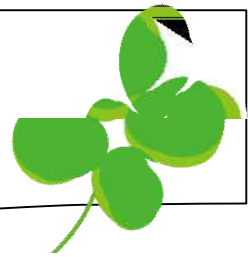
水に入ることによってのプラスの効果

浮力が働くことにより体が軽くなり、通常だと動かしの動きを楽しみながら喜びを感じることができ体力もついてくること。

全身に水圧を受けるため血液循環が良くなること。それは酸素を全身に運ぶことになりあらゆる効果を受けることができます。(新陳代謝・基礎代謝等・・・)けれど入りすぎは禁物。体温調節がしにくい子ども達は一時間程度が最も適しているそうです。何事もやり過ぎは逆効果ということだそうです。

働くすがた

～ 継続雇用に向けて～



経験と自信

ジョブコーチ 佐藤 えりな

彼らが入社し、早くも1年と7か月。彼らの技術面・精神面の成長・仲間との関わりの中での成長をしていることを日々嬉しく感じています。

今、彼らの仕事は約40種類以上のガジェットといくつもの事務作業、色んな場所での清掃作業。多くの仕事を任されるようになり、2年弱でここまで成長することができたのは彼らのどの仕事に対しても一生懸命に向き合い・努力する力があるからですね。また、会社にも慣れ、休憩時間は仲間と楽しくリラックスする時間にもなりました。しかし、休憩が終わり休憩室から出るとリラックスモードから仕事モードに切り替えてから作業室に入ります。これも一つの成長。

彼らの仕事に対する思いはすごいですね。そして今、彼らの一つの大切な力づくり、成長のためにも一つの取り組みをしています。それは彼らが常に一緒に過ごし、これからも共に働いていく仲間とより良い仲間関係を作っていくためにも「挨拶」について取り組んでいます。

「おはようございます」「お疲れ様です」「お先に失礼します」挨拶は社会の中でとても大切なコミュニケーションの一つ。仲のよい仲間に対しても会社の中では必要です。TGWの上司の方や社員の方・ジョブコーチに対しての挨拶は自然とでき、挨拶を受ける私たちも気持ちよく仕事を迎えられています。その挨拶を次は共に働く仲間に向け、お互い気持ちよく仕事を始められるようにして欲しいと思っています。朝の通勤路での「おはようございます」はもちろん、帰宅時の「お疲れさまです」や「明日もよろしくお願ひします」そんな一言の挨拶が自然とできるようになれば会社の中での共に頑張る気持ち・負けないなどのライバル意識など、仲間関係もより良いものとなっていくと思います。仲間意識がさらに高まることによって、お互いの支えにもなっていきますよね。一緒に働いている仲間とは仲がいいことも大切。しかし、これからもずっと働いてく仲間として共に助け合い・支え合いの中で共に成長して欲しいと感じています。そのための第一歩として大切なコミュニケーションの一つ「挨拶」を心がけて欲しいです。私達ジョブも相手が気持ちよいと感じられる挨拶を心がけていきたと思っています。

愛西市の子ども達の様子



実りのある2学期

愛西市特別支援教育支援員 中野 孝子

忙しかった2学期が終わろうとしています。運動会、学習成果展、社会見学と盛りだくさんの行事に取り組んできました。

日頃は成長を見守り、子ども達のペースで少しずつステップアップを願っている支援員ですが、たくさんの行事を経験していく中で、子どもにとっても手応えを感じてもらいたい。手応えのある成果として残していきたいと思い意図的に厳しい言葉をなげかけてきました。こんな言葉で負けることはない、くじけることはない・・・と子ども達の強さを信じ共に過ごしてきたのです。

そんな中で支援員に依存するのではなく「自分で考えて動く」ことが少しずつできるようになってきました。2学期は行事が多い分、行動力が必要になるので自立心を養うのにとっても良い時期なのです。他の児童と同様、どの子にとっても大切な「自立心」「行動力」心の成長をこれからも育てられるよう時には厳しく・強く、そして優しく接していきたいと思います。

頑張った2学期を終え、冬休みは家庭生活を楽しみながら、新たな3学期に向けて心も身体も鍛えて欲しいと願っています。

【新社屋 進捗状況】

ご報告

新社屋の建設に伴い、進捗状況をお知らせ致します。皆様のお陰で、無事に地鎮祭を執り行うことができ、いよいよ次は、『上棟式』です。今のところ、日時は12月7日(水)の予定となっております。建物の方は、基礎ができつつある状況です。



今月の予定

(愛西市特別支援教育支援員)
12月22日(木) 愛西市小中学校 終業式

お知らせ

(サポートセンターつぼみ)
12月16日(金) つぼみ茶屋
今月の「つぼみ茶屋」では、五平餅を販売致します。
5時40分から販売致します。皆さん、ぜひ買いに来て下さいね。

編集後記

師走の候、皆様いかがお過ごしですか？ 皆さん、もう「師走」ですよ～。早いですね～。今年一年を、振り返ってみると(社)光陽福祉会では、いろんなことができました。

ご主人の転勤で、やむを得ずつぼみから卒業された八木先生(皆さん覚えてみえますか？)が、ひょこっと、つぼみに遊びにみえました。全く変わらず、つぼみでのオーラのままでとてもお元気そうでしたよ。遠くからブログのコメントをいつも下さり、繋がってますよね。嬉しい限りです。

未就学の再開・・・小さな小さな子ども達の成長ぶりがとても可愛く、愛おしい限りです。独特の雰囲気、ほのぼのとして、微笑ましくとも癒されます。

そして、待望の新社屋の建設!!皆様のお陰で、つぼみは・・・(社)光陽福祉会は・・・少しずつ大きく成長をしようとしております。ありがとうございます。また、一年間大変お世話になりました。来年も、光陽の成長振りを楽しみにして下さいね。!